

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月16日 (14:00~15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	8	3		13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	8	3		13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		9	4		13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8	5		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
--------	------------------------------

サービス開始前には全職員に情報を提供し、朝のミーティングや職員会議の場や申し送りにてサービス(ケア)の提供方法等の情報共有を図っている。
本人や家族の必要としている支援が出来るよう利用開始前(利用開始後も継続して)に何度か訪問し必要とされるサービスの提供につながるよう支援出来ている。
気づきを大切にしており、職員間で気づきの伝達を行っている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
---------	-------------------------------

担当の方のケアプランにあまり目を通す事があまり出来ておらず、ニーズの把握が十分でない状況がある。
その為担当職員から、どのようなケアが必要なのかの意見が少ない。
利用者の方々とのコミュニケーションは概ね取れているが、潜在的ニーズの把握を行うという認識が少なくニーズの掘り起こしが不十分な時がある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
---------------	----------

担当職員はケアプラン(モニタリングの内容も)を必ず確認しニーズの把握に努める。また、常日頃から利用者の方々との関わりを持つこと(利用者方々の変化に気づく)で潜在的ニーズの掘り起こしに努める。
職員間の連携・情報の共有を重要視する。他の職員へは口頭や申し送りノートにて他の職員に必ず伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月16日 (14:00~15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	8	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		8	4	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		7	5	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6	6	1	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
出来る限り本人の意思を尊重し、その都度、その時の状態にあった対応をしようとしている。
したいとの意思表示があれば、朝のミーティングや職員会議にて方向性を決めサービス提供に繋げている。
また、普段の生活の中では自立支援を意識し本人がしたいと思っている事をこの先もやって頂けるように努めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の関わりの中でご本人の真の要望 (声にならない声) を探りきれていない。
本人の「したい」と家族の「して欲しい」に相違がある時、ご家族の「して欲しい」に職員が寄りすぎており、ご本人の「したい」の思いを受け止めきれていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
職員が気づきを大切にする。真の要望の把握 (気づき) し、実現に向けて必要なケア提供を皆で協議し、共有する。ご用者の要望 (したい) の実現に向けたケアを周知し統一されたケアの提供を目指す。
本人の「したい」の意思を尊重することを大切にご家族とも相談して、ご本人の意思をご理解して頂けるようよく話し合い「したい」が実現できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月18日 (14:00~15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?			11	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	2	1	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		4	6	3	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		8	3	2	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		9	2	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 体調面で変化があった場合は、直ぐに管理者や看護師に報告し指示を仰いでいる。職員間でも情報は共有するよう努力している。本人の気持ちや体調の変化に合わせて支援している。また、その日のスタッフにも情報共有している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 忙しすぎて…を理由に本人の能力を生かす援助が出来てない。小さな変化に気付く職員はいるものの看護師や管理者への報告がなされなかったり、あっても記録に残されていない事が時折見受けられる。記録や記入内容がまだまだ薄い。「忙しい」を理由にして職員都合のケア(業務優先)になっており本人の能力を生かすケアが出来てない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) コミュニケーションを取りにくい利用者の方への配慮が欠けていた為、積極的なコミュニケーションを取るとともにプライバシーや人権にも配慮するよう徹底する。 ケアの提供や職員都合のケア提供その他記録の記入漏れをなくす。その為に職員間での連携を十分行い、「作業」の効率化(連携・協力)を図り本人の能力を生かすケアを全職員が行う。経過記録や連絡帳、訪問記録等は公文書(重要書類)である事を全職員が認識し記録の記入(記録内容も含め)を徹底する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月18日 (14:00~15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5	2	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	4	3	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	6	3	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	6	6	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 来所時は体調・一日の様子等を連絡ノートに記入し家族とのコミュニケーションを取っている。
 送迎や訪問時の際に利用者との会話のなかで普段の暮らしの理解に努めている。
 定期的に外部ボランティアや園児の方々に来て頂き交流を図っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 通い時、訪問時以外の生活スタイル、どのように過ごされているか(地域でどのような暮らしをしてきたか)、
 家族との関わり方を十分に把握出来てない。
 利用者が居住する地域での民生委員や世話役となる方々との接点を作りきれていない。
 地域資源は何であるのか理解が不十分である。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 近所との付き合いや通い、訪問以外での過ごし方を把握、利用者が居住する地区の民生委員や世話役(町内会長等)の接点を作りケアの充実を図る。
 地域資源とは何かという事を知り改善提案(地域密着)が出来るようレベルアップを図る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 20 日 (14 : 00～15 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 13 名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	2	8	2	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	7	5		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	7	5	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		9	4		13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 地域資源の十分な掘り起こしが出来てないものの、知りうる地域資源を活用し、利用者のニーズにそくしたケアの提供を行うようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 資源を結び付けてサービスの提供を行う事を考えようとする意識が希薄であり、事業所だけですべてを対応しようとしている。
 (多機能性ある柔軟な支援を行うとの認識が持ててない)

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 利用者毎の担当職員は、まずは利用者の頭在化されたニーズ、潜在的なニーズを把握しその利用者にあった資源提供を考え、会議にて提案検討し必要に応じてケアプランに入れ込む(日々のケアに活かす)。また、地域資源や公的サポートをどう活用すればよいのかを検討し活用する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 20 日 (14 : 00～15 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 13 名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		4	3	6	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	3	7	13
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		1	5	7	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		5	3	5	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 その他のサービス機関 (医療・看護・リハビリ・福祉用具) 連絡会の参加や地域包括との連携を行い利用者の生活の質の維持向上が図る事が出来た。また、必要に応じてケアプランに盛り込んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 地域包括ケアの拠点である事の認識が希薄である。
 職員側からサービス提供の提案が少なく受け身の立場となってしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 まず地域包括ケアを含めた連携・協働の必要性を理解するため、事業所内研修の場を作り職員全員が理解できるようにする。
 利用者に必要なサービスの提案を積極的に行う。(受け身からの脱却を図る)

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月21日 (14:00~15:00)

7. 運営

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		6	5	2	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		6	4	3	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		2	7	4	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	5	7	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者や家族からの提言や苦情には都度柔軟に対応出来ている。 利用者が快適な生活をするために関係各所と連携し必要なサービス提供を行っている。 運営・介護・看護伝達事項について朝礼や申し送りノートにて全職員が情報の共有が出来ている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用者の家族の意見や苦情に対応するようにしているが、時折報告内容の不備により、対応が遅れることがある。 あまり地域と協働した取組みが出来てないように思われる。 職員会議や毎朝のミーティングで取り決めた統一ルールが守れていない状況が時折ある。(情報の共有不足)
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員一人ひとりの運営に対する意識を高めるため、まずは事業所内研修を通して運営に対しての認識を持つ(サービスの質を高める)。 確実な情報の共有を行うため、どんな細微な事でも管理者報告、職員間の連携を意識し実践する。 ご本人や家族、介護者の意見を聞き担当職員に伝える。担当職員は必要なサービス提供を考え提案していく。 必要に応じて地域にあるサービスを利用する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 21 日 (14:00~15:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13 名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		5	5	3	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	6	5	13
③	地域連絡会に参加していますか		2	3	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	3	3	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
朝のミーティングや職員会議 (事業所内研修も含む) にてリスクについての話し合いを行うことが出来ている。
アクシデントやインシデントなど報告をまとめ全職員で共有し再発や防止に取り組んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
事業所内での実践的 (実技) な研修が行えていない。
統一された介助方法を決めているにもかかわらず、職員の力量次第でリスクを考慮しないケアになってしまっている状況がある。
日頃から職員自身が自己研鑽・自己練磨の意識を高められていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
事業所内研修の場を作り統一した介護・介助方法の実施、また外部研修を受けた職員は報告を行い研修内容の共有を図り職員のスキルアップに努める。
ご利用者の事故 (リスク) について日頃から情報を共有し、事故防止に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成30年 12月23日 (14:00~15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13名 (中川、高橋、岡田、鈴木、後藤、林、池田、谷本、山田、来海、坂根、末廣、上杉)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3			13
②	虐待は行われていない	9	4			13
③	プライバシーが守られている	4	8	1		13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	4	3	5	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 拘束になりかねないため行動抑制はせず、常に寄り添う対応をとっている。 拘束とは何かを理解しそれに該当する行動をしないよう心掛けている。 入浴・排泄・更衣・インスリン施注等の際はカーテンやパテーションで仕切りプライバシー保護に努めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ホール内で大きな声で利用者やご家族の話をする場合がある。(フロア内、他のご利用者にも聞こえるくらいの声で排泄や身体的特徴等の話をする) 個人情報の保護 (取扱い) についての勉強会が実施できていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 後見人制度や日常生活自立支援事業などを含めた介護保険制度の勉強会を計画的に実施する。 相手の行動を抑制するような言動をなくすため、待つてほしい時等はどれだけ待つのか、予測と見通しを相手に必ず告げるようにし、スピーチロック撲滅に努める。 利用者の羞恥心やプライバシー保護のための話し合いの場を持ち、職員全員が同じ意識を持つ。 利用者の尊厳や人権を守るため職員間での会話は他利用者に聞こえないような配慮を行う。
---------------	--